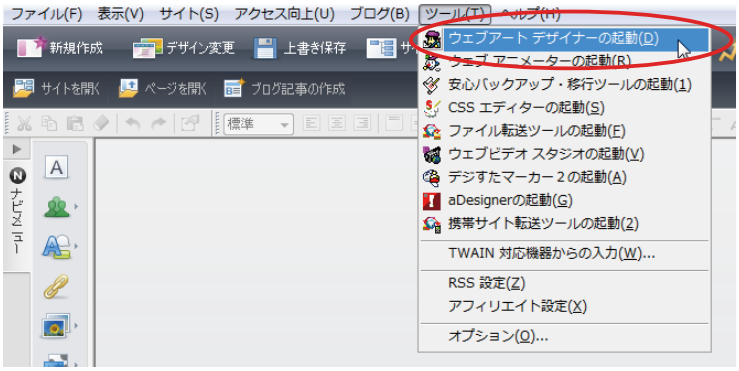
Part 5　画像を編集しよう

ホームページ・ビルダーに備わっているウェブアートデザイナー機能を使って、素材集の中から素材を選び、自由に編集して自分だけの素材（画像）を作ることができます。ここではオリジナルのＴシャツ作りを例にとって、操作の手順を学びます。

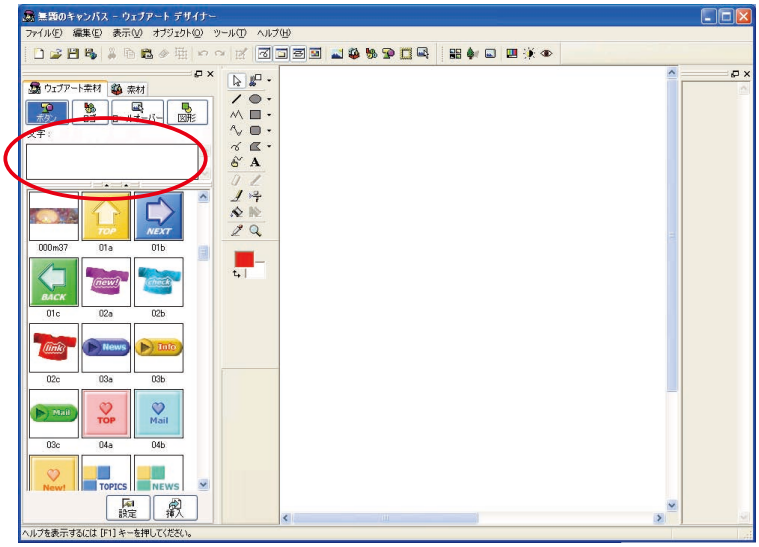
Ｔシャツ（ボタン）と文字の２つの要素を合成したオリジナルＴシャツ

■ウェブアートデザイナーを起動する

❶メニューバーの［ツール(T)］から［ウェブアートデザイナーの起動（D)］を選びます。

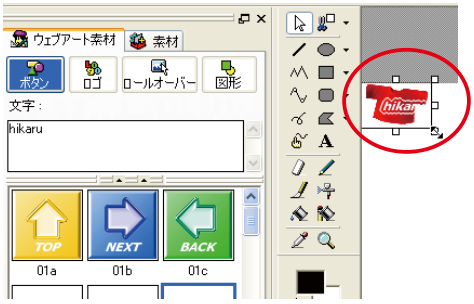


❷「無題のキャンパス - ウェブアートデザイナー」画面が表示されます。ウェブアート素材の中の［ボタン］をクリックし、文字の入力領域にTシャツに入れる文字（例：hikaru）を入力します。表示されている素材の中から好きな色のTシャツをダブルクリックすると、選んだ編集画像がキャンバスに表示されます。



❸Tシャツに入る文字の大きさを調整するため、まず見やすいように画像をクリックして右下隅の□をドラッグし拡大します。

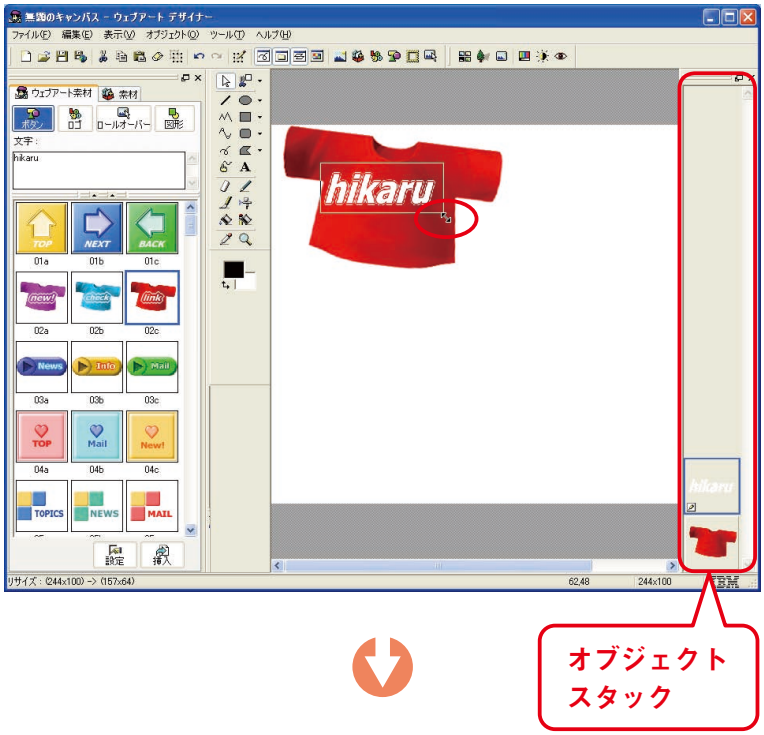
さあ、これで画像編集の準備ができました。いよいよ編集です。



■画像、文字を合成し、効果を付ける

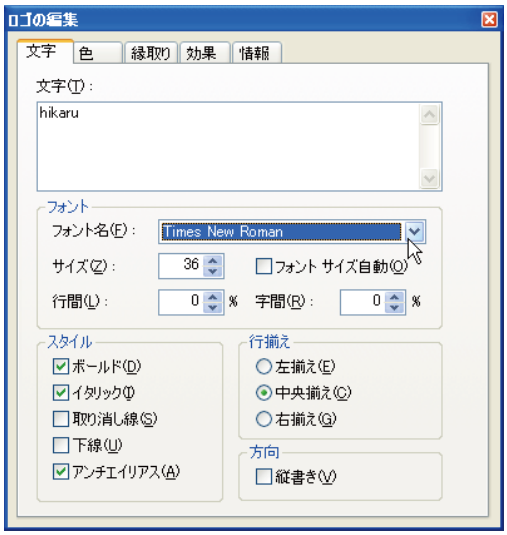
❶まずオブジェクトスタック上の文字（例：hikaru）をクリックし、右下隅の□を左上へドラッグしながら、文字の大きさを調整します。文字の位置は文字をドラッグしながら動かして調整できます。

（※）オブジェクトスタックとは、画像を構成する複数のパーツを登録／保管しておく所です。



❷続いて文字のフォント（書体）や色、縁取り、効果などウェブアートデザイナーに備わっている機能を使って、文字のイメージを変更していきましょう。オブジェクトスタック上の文字をダブルクリックすると「ロゴの編集」画面が表示されます。

❸ [フォント名] の [▼] をクリックし、フォントの中から好きな書体を選びます。(例：Times New Roman)
同様にして、好きな文字の色、縁取り、効果を選びます。
最後に、右上の ☒ (閉じる) ボタンをクリックして画面を閉じます。



『hikaru』
ロゴ：02 c
フォント：Times New Roman
文字サイズ：36
色：#FFFFCC
縁取り：囲み
効果：影

完成しましたか？
画像が少し淋しいので、文字（例：hikaru）の下に新たな文字を入れましょう。
これまでの操作の復習です。
選ぶロゴのパターンはウェブアート素材の中の「ロゴ」にもあります。

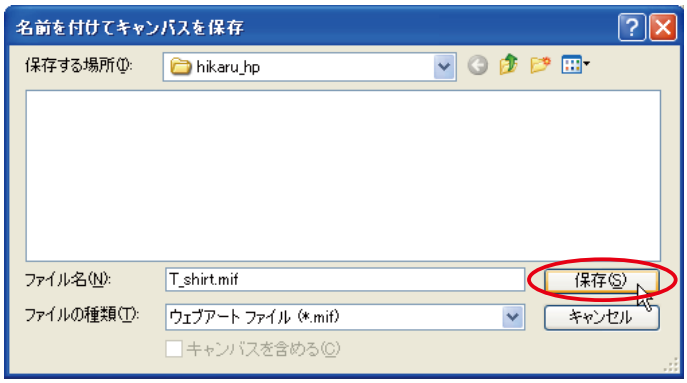
『TOPICS』
ロゴ：031
フォント：Alial Black
文字サイズ：16
色：#FFCC33
縁取り：なし
効果：エンボス
『NEWS』
ロゴ：031
フォント：Alial Black
文字サイズ：13
色：# 663300
縁取り：なし
効果：エンボス

Tips フォントについて

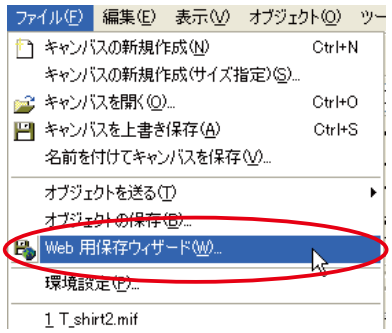
フォントには大きく分けて明朝系とゴシック系があります。明朝系はセリフ、いわゆるヒゲの付いた文字で、ゴシック系に比べて視覚的に軽いため長い文章(本文) に使われます。これに対してゴシック系はタイトルや見出しなどに用いられます。

■オリジナル画像を保存する

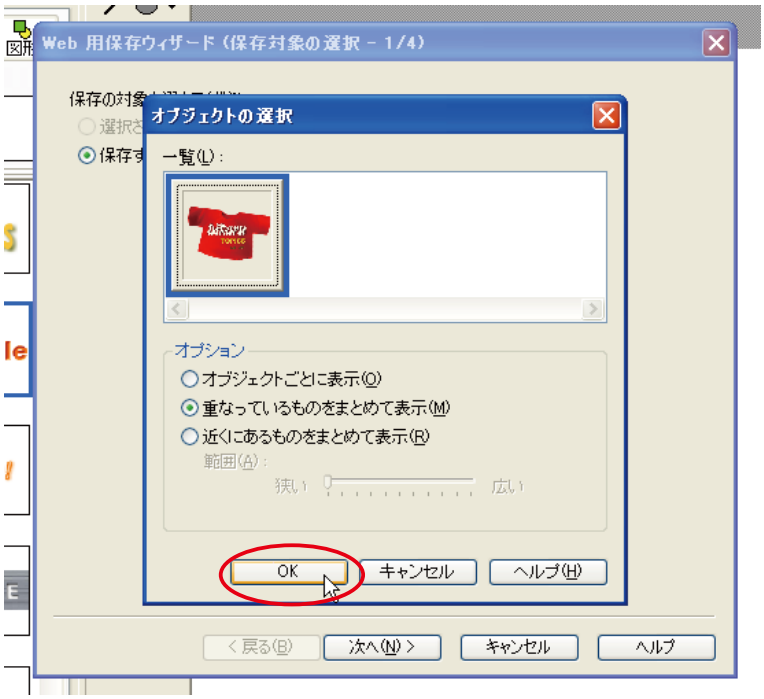
❶オリジナル画像ができたら、保存しましょう。メニューバーの［ファイル（F)］から［名前を付けてキャンバスを保存（V)］を選びます。次に、保存するフォルダを選び、ファイル名（例：T_shirt）を入力して保存します。その際、ファイルの種類を「ウェブアートファイル（*.mif)」にしておくと、再編集が可能です。



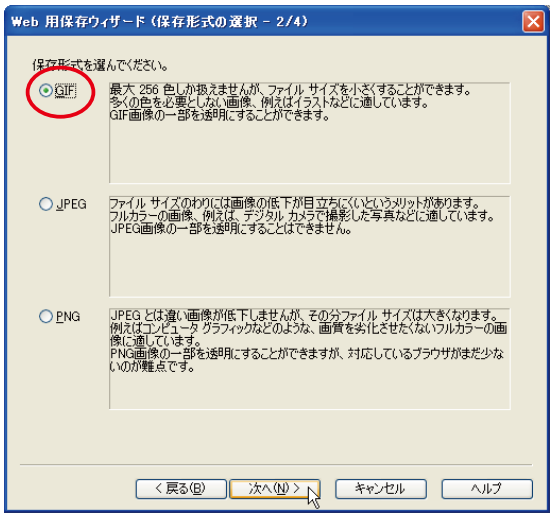
❷さらに、メニューバーの［ファイル（F)］から［Web 用保存ウィザード（W)］を選びます。

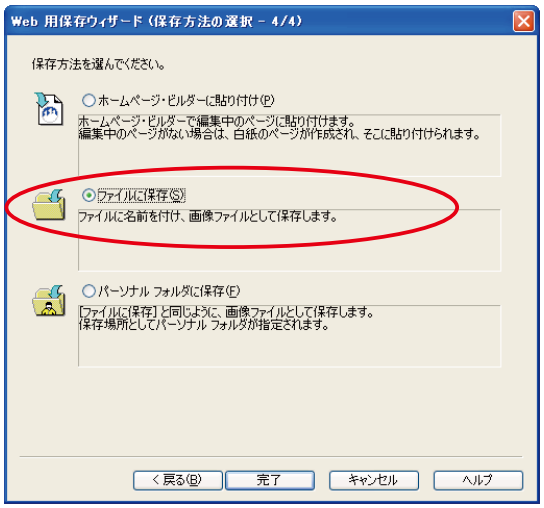


❸［保存するオブジェクトを指定する(S)］が選ばれていることを確認し、［指定（P)］をクリックします。「オブジェクトの選択」画面で一覧に編集した画像が表示されていることを確認して、［OK］をクリックします。



❹続いて、[次へ (N)] をクリックします。「保存形式の選択 -2/4」画面で保存形式を選び（例：GIF)、[次へ (N)] をクリックします。



❺「GIF 属性の設定 -3/4」画面の内容を確認し、[次へ (N)] をクリックします。

❻最後に、[ファイルに保存 (S)] を選んで [完了] をクリックします。